

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

Apr. 2024

審判委員会ホームページ : <https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>

年4回発行(1, 4, 7, 10月)



～コロナ禍を経て守りから攻めへの転換点～



(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会 堀川栄多

改めまして今年度の審判委員長を拜命しました堀川栄多と申します。早いもので前任の山岸佐知子氏から委員長を引継いで3期目を迎えることになりました。

前年度までの2期4年はまさしくコロナ禍の一言に尽きます。新任で右も左も判らないなか、未曾有の新型感染症の流行に手探りで対応したことを昨日のように思い出します。特に千葉は早期に試合を再開したことで、多くの審判関係者に不安をおかけしましたが、皆様のご協力によって滞りなく事業を進めることができました。

この場を借りて改めて感謝とお礼を述べさせていただきます。

おかげさまで審判委員会も役員が決まり、新たな体制で新年度をスタートします。安心・安全を最優先することには変わりありませんが、基本的なスタンスを「守り」から「攻め」に転換して、皆様にとって有意義な事業を展開するようスタッフ一同、取り組みます。

本県のサッカー審判をとりまく問題は多岐にわたり、一朝一夕には解決できないことも少なくありません。審判委員会として中長期的なプランで粘り強く問組む事案や進むべき方向性については、現在、協会がまとめている「千葉県サッカー総合計画」をリリースする際に改めて説明いたします。恒常的な課題はさておき今年度のテーマは「ウェルフェア(Welfare)」を取り上げます。ウェルフェアとはあまり聞きなれない言葉かもしれませんが、JFAのホームページによると「幸福、快適な生活、福利」を意味します。私たちの活動に例えると「サッカーに関わるすべての人が嫌な思いをしない」と言い換えることができ、審判員として率先してこうした環境整備に取り組んでほしいと強く願っています。とかく子供を対象とした、いじめ・虐待・差別などに目が向きがちですが、「(我々審判を含めて)全ての人」「嫌な気持ちにさせない」といった、人として普遍的なことだご理解下さい。そして、サッカーを「楽しむ・やりたい・続けたい」と言ったポジティブな雰囲気を自分の周囲に築いて下さい。

次ページへ



目次

審判委員長より	1～2	今日も地域で頑張っています！！	12～15
2024年度レフェリーニュース発行について	2	茨城と合同インストラクター研修開催	16～17
審判委員会ホームページが変わります	2	フットサルの魅力③、永年表彰者の紹介	18～19
2023年度 審判委員会 役員紹介	3	全日本U-12サッカー選手権大会参加	20～21
審判委員会各部からのお知らせ	4～5	新規取得講習会(サッカー、フットサル)	22
決勝審判員表彰(U-13選手権)	6～8	2024Jリーグスタンダード	23
昇級審査合格者のお知らせ	9～11	2024年度の障害保険について	24～25
J1リーグ通算200試合担当表彰	11～12	編集後記	26

委員会の運営方針としては、審判の指導全般を見直して、指導者に加え上級審判員の力を借りて「学ぶ機会」を拡充します。具体的にはより実戦に近い内容を楽しく学べる体験型の事業を計画中で、詳細は後日ご案内いたします。事務系の業務においてはレフェリーニュースのデジタル化や、取得講習会のオンライン化を促進することで効率化・省力化に努めます。その上で技量向上に向けた実践的指導に多くの費用を充てるよう「モノから人へ」お金の使い方を見直すとともに、社会情勢や環境に合わせて柔軟かつ積極的に攻めの姿勢で事業を進めていきます。

以上、簡単ではありますが今期の運営方針ならびに所信の表明を持って、年度初めの挨拶に代えさせていただきます。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。

2024年度のレフェリーニュースWEB発行について

- 当委員会で発行しているレフェリーニュースは現在、4月号・7月号・10月号・翌1月号の年4回発行しております。
- 今年度(2024年度)のレフェリーニュースの発行は、これまでと同様に4月号・7月号・10月号・翌1月号の全てが審判委員会のホームページへの掲載のみとなります。(WEB発行のみ)
- 重要なお知らせ(更新講習会情報等)を掲載した場合はKICK OFFからのメール等を使用してその都度、お知らせする予定です。
- 今後も皆様に講習会情報等の有用な情報を迅速にお伝え出来るように努めて参りますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

☆ 千葉県サッカー協会・審判委員会のホームページが変わりました ☆

他の種別のページ(4種以外)と同様の体裁となり、新着情報等が見やすくなりました

千葉県サッカー協会トップページの「更新履歴」にも新規掲載内容が「審判」として週2回の更新で掲載されます。基本的に今までの内容を網羅しますが、「通達」や「競技規則」など他のサイトで閲覧できるものは削除します。なお、掲載記事の希望や内容の要望等は総務部までお願いします。

※講習会のお知らせはこれまで通り「スケジュール表」が表示されますが、講習会の詳細等の案内もタイムリーに審判のページに掲載する予定です。<https://chiba-fa.gr.jp/13.judge/>

↓以下イメージ

The screenshot shows the website interface for the Chiba Football Association Referees' Committee. The top navigation bar includes the JFA logo, the association name in Japanese and English, and the ID number 0000088. The main content area is titled '審判委員会' (Referees' Committee) and features a 'お知らせ' (Notice) section with several items, including updates on emergency contact systems and training sessions. A red dashed circle highlights the '審判' (Referee) link in the left sidebar menu. A large red watermark reading 'イメージ' (Image) is overlaid on the page.

～ 2024年度 審判委員会 役員紹介 ～

2024年度 審判委員会メンバー

委員長		副委員長	
堀川 栄多		五十嵐 泰之	
部署と主な業務内容	部長	副部長	メンバー（順不同）
サッカー統括部 ～派遣審判員の 카테고리 検討や、アセッサー派遣を行います～	村上 匡		上田 千尋 牛尾 眞一郎 河合 英治 木原 裕之 曾我 文宏 堀川 栄多
普及部 ～新規/更新講習会や昇級審査の運営を行います～	実方 洋一	真殿 定幸	安藤 学 稲葉 太郎 石垣 雄市 奥間 崇広 榊原 晴彦 高須賀 清司 高萩 守 都間 雅彦 松岡 恵美子 矢作 政美 山下 良之
育成部 ～審判員育成のための研修会を行います～	木原 裕之	今 武司 山崎 久	清水賢 一郎 柿沼 輝信 サポートメンバー 浅田 武士 大川 直也 清水 勇人 柘植 政宏 淵上 祥太
強化部 ～強化審判員の指導を行います～	村上 匡	村上 勝則	石原 美彦
女子部 ～女性審判員の発掘、育成、指導を行います～	上田 千尋		池田 朋代 宍浦 智子 千葉 恵美 彦坂 由樹子 松岡 恵美子
フットサル&ビーチサッカー部 ～フットサルやビーチサッカーに関する事全般を担当します～	室田 智広	木村 拓	遠藤 光男 笹平 宏之 藤崎 翔平
指導者部 ～インストラクターの育成、講習会等への派遣を行います～	牛尾 眞一郎		石垣 雄市 石原 美彦 小栗山 浩史 片桐 正広 宍浦 智子 行木 宏彰 村上 勝則
割当部 ～試合に派遣する審判の割当業務を行います～	曾我 文宏		池田 朋代 清水 賢一郎 長谷川 鉄哉
財務部 ～審判委員会の予算管理を行います～	櫻田 雅裕		
総務部 ～広報、保険、その他ほかの部に属さない業務を行います～	長谷川 鉄哉		長田 晃 金子 秀之 高野 祐介 田口 雄一 中山 達良 淵上 祥太
レフェリーアカデミー ～若手審判員の育成・強化を行います～	河合 英治		
WEB担当 ～WEB研修会の運営等を行います～	中山 雅之		大勝 雅禎 柘植 政宏

※審判委員会の業務について問い合わせ：総務部メール cfarc.somu@gmail.com

女子部からのお知らせ

女子部では、実技研修、座学研修、観戦研修等、様々な研修を通して女子審判員の普及、育成を行っています。カテゴリー審判員だけでなく、4級審判員も含め、すべての女子審判員の活動を女子部で支えていきたいと思っております。

審判活動をしたいけれど、どうやって活動したらよいかわからない、審判資格は持っているけれど活動に不安があるといった女子審判の方がお近くにいるようでしたら、ぜひ女子部の活動をお伝えください。

☆ 実技研修を行いました ☆

日時：2024年2月25日(日)8:30～16:00
場所：船橋市立船橋中学校
大会：船橋市交流ジュニアユースサッカー大会
参加者：8名



例年、市立船橋高校サッカー部のご協力をいただき研修を行っています。今年は冷たい雨の降る中、8名の女性審判が意欲的に研修に参加しました。中学生、高校生のユース審判から、上級を目指して活動している方まで普段の活動は様々ですが、女子審判研修の一番の特徴である「交流」が今回も大いに進みました。

以下、研修の感想の一部です。

- ✓ 普段女性審判の方と交流できる機会は滅多にないのでとても貴重な機会でした。
- ✓ 周りの方々がすごく優しく教えて下さり、やりやすくて色々なことを学びました！
- ✓ ルールをもっと勉強するべきなのを再認識しました。
- ✓ とても貴重なアドバイスも頂きました。ありがとうございました。
- ✓ もっとたくさんの研修を受けたいです。
- ✓ まだまだ勉強するところが多いと感じました。実践での勉強も今後増やしていきたいと思いました。

☆ 観戦研修予定 ☆

一昨年度から始めた、WEリーグの観戦研修を、今年度も5月に予定しています。詳細が決まり次第、案内をする予定です。ふるってご参加ください。

女子部長 上田 千尋

割当部からのお知らせ

☆ 審判割り当てを受けてみませんか？ ☆

現在3級を取得されて審判活動をされている方で、「審判が楽しい、もっとうまくなりたい！」でも、子供が成長して活動場所をどうしよう？などとお困りの方はいらっしゃいませんか？(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、選手により良いゲーム環境を提供するために、派遣審判活動にご協力いただける方を探しています。

最初は自信がなくても、大丈夫！3種(中学生)の副審など、無理のない試合から始めて経験を積んでいただき、審判スキルや試合レベルをアップしてみませんか？やる気のある方には、どんどん割当をしていきます。

千葉県内では多くの試合に審判を派遣しており、派遣先では様々な審判員とコミュニケーションが取れ、今後の活動に生かれます。また、研修会や勉強会も随時行っていますので、心配する事はありません。

詳細に関しては、割当部の曾我(fs068913@yahoo.co.jp または、070-5547-5132)までご連絡ください。

是非、ご連絡お待ちしております！

☆ 派遣審判員の皆さまにお願い ☆

2023年度も各種別で多くの試合が予定されており、割当部としても迅速で的確な審判員の派遣をしたいと思っています。ついては、以下に留意頂きスムーズな進行にご協力をお願いします。

- ① 可能な限り、月初迄に翌月の可能日を入力して下さい。(平日可能日があれば、それも入力願います)
 - ② 可能日に変更が生じた場合は、各自では修正できませんので、**その都度必ず変更内容を割当部の曾我(fs068913@yahoo.co.jp)まで連絡**して下さい。(緊急の場合は、他の割当部員でも対応可能です)
 - ③ 割当を依頼されたら、**3日以内に速やかに諾否**を入力して下さい。(普段のメールチェックをこまめをお願いします。)
 - ④ KICKOFFから最終確認依頼メールが届いたら、必ず割当内容を再確認して下さい
 - ⑤ 主審を担当した場合、必ず審判報告書をKICKOFFへの登録により提出して下さい。
 - ⑥ その他の詳細、キャンセルや直前の変更、緊急事態が発生した時などについては、毎月KICKOFFから配信される可能日入力依頼のメールを参照してください。
- よろしく申し上げます。

割当部長 曾我

総務部からのお知らせ

☆ コンプライアンスについて ☆

コンプライアンスとは？

「法令順守と、その組織の倫理に従った行動」をとるという事で、審判活動で言えば、例えば集合(マッチミーティング)の15分くらい前には余裕をもって到着するなど遅刻は厳禁ですし、試合中に選手やコーチ等に対する言動や態度についても責任をもった行動が要求されます。また、審判員でしか知りえない事を公にする事も禁じられています。

私たちは試合があるからこそ審判が出来るのであって、「審判してやっている！」というような高飛車な態度や、選手等をリスペクトしない事は、コンプライアンス上よろしくない行動です。

特にSNS等の情報発信に注意！

県協会からの割当情報や担当する試合の情報、試合内容に関する事など「誰がどの審判をしていたか」などは絶対に載せない事、試合内容の評価やレフェリングの感想等もどこで、どう拡散するか？わからないので、写真なども含めて絶対に載せないでください。

個人的に依頼された試合などは個人の判断ですが、その時の写真などは著作権や写っている選手等の肖像権にも注意が必要です。必ず掲載して良いか？主催者や本人に確認してください。

個人情報について

割当部からの確定した試合の割当表には、緊急用のために審判員個人や主催者の携帯番号が入っています。例えば、交通渋滞等でマッチミーティングに遅れそうな時など、緊急に連絡が必要な時用ですので、取扱には十分注意を！紛失も同様です。割り当て終了後は確実にシュレッター等で処分してください。

総務部長 長谷川

～2024年度もよろしく申し上げます～



令和5年度 第27回 千葉県ユース (U-13) サッカー選手権大会決勝戦

2024年2月23日(金・祝) 10:00キックオフ 八幡球技場

VONDS市原FC 1(0-2,1-2)4 ACカラクテル

R:井村 友哉氏、AR1:岡元 佳紀氏、AR2:兵頭 悠太郎氏、4th:川勝 健太氏(文中敬称略)

昨年度に続き千葉県ユース(U-13)選手権決勝戦において、試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 兵藤さん、川勝さん、井村さん、岡元さん)

Q : 非常に寒く冷たい雨の降る中、お疲れ様でした。まずは試合の感想をお願いします。

井村 : 大きな問題もなく、無事に終われてほっとしています。

岡元 : 両チームともにレベルが高く、とてもやりがいを感じられる試合でした。

兵藤 : 寒く体が動きにくい気候ではありましたが、試合前のアップでしっかり体を作り、万全な状態で臨むことが出来ました。また、ジャッジではラインコントロールをしっかりし、決勝にふさわしいものができました。

川勝 : まずは何事もなく試合が終わり、安心しています。しかし、慣れない第4の審判員の担当で、反省の多い試合になりました。本試合で出た反省を今後活かしていきたいと思います。また、決勝戦ならではの独特な雰囲気を楽しむことができ、この試合に直接関わることができた者として、非常に嬉しく思っています。

Q : 井村さんは昨年的高校選手権決勝の副審に続き、今回は主審でしたが、気持ちに違いはありましたか？

井村 : 大きな違いはありませんでした。競技規則通り、公正公平なジャッジとサッカーを楽しむことを心構えとしてのぞみました。

Q : 他の3名は初めての決勝審判だと思いますが、割当て依頼が来た時の気持ちは？

岡元 : 貴重な体験の機会をいただけたことを嬉しく思いました。

兵藤 : 率直な感想は嬉しかったです。大会の頂点を定める試合という事もあり、緊張や責任がありましたが、楽しみ！という気持ちが強かったです。

川勝 : 何となくですが、以前から本試合の割当てが来るかな?!と予想していました。しかし、まさか第4の審判員の割当てが来るとは想像もしていませんでした(笑)。決勝戦という貴重な担当をすることができるので、自分のできることを最大限実行しようと決意しました。



Q： 県内では様々なカテゴリーで試合がありますが、審判をする上で心掛けていることは？

井村： 自分もサッカーを楽しむことを心掛けています。選手に一番近い距離プレーを観られるのが審判の特権であり、「うまい！ナイスプレー！」など口に出してしまいます。
(笑)

岡元： 常に正しい判断をし、選手からの信頼を得るためにこまめにコミュニケーションをとることで。

兵藤： そのカテゴリーにあった強度のジャッジをできるように基準を変えつつ線引きをしています。また、育成年代に対しては、やっては行けないことを学んで欲しいという思いもあり、手を用いたファウルなどは気をつけています。

川勝： 目立たない審判をするを意識しています。サッカーの試合においての主役は選手です。選手の素晴らしいプレーを引き立てられるようなレフェリングしようと常日頃から考えています。また、自分らしいレフェリングをすることも大切にしています。いい意味で、他の審判員とは一味違うレフェリングをしようと努力しています。



Q： 皆さんプレーヤーの経験もお持ちと思いますが、審判になってサッカー感など変わった事はありますか？



井村： 特に、変わったということはありません。

自分自身のサッカー感というよりは、選手をはじめ、監督、コーチ、観客それぞれのサッカー感があり、多くの見方があるな！と感じました。

岡元： ルールを深く知ることで、以前とは違う見方ができたことにより、プレーの幅が広がりました。

兵藤： サッカーとの向き合い方が変わりました。自分がプレーすることで精一杯でしたが、レフェリーとなった今、選手としてプレーする時は審判団に協力し、より良い試合を作ることを努力しています。

川勝： 私は審判になって、プレーの予測に対する考え方が大きく変わりました。

選手だった頃は、プレー中にあまり余裕がなく、次のプレーを予測することを蔑ろにしていました。しかし、審判となった今は、適切なポジションで判定できるように、次のプレーやその次のプレーまで予測するように意識しています。結果的に、予測することは非常に大切だったと、今更ながら気づくことができました。



Q： 非常にお若く、今後を期待されている4名ですが、同世代の審判員を増やすには？

井村：これ以上ライバルが増えると....(笑)。冗談ですが、サッカーに携わる選択肢の一つとして提案できたらと思います。

岡元：少しでも自分が活躍し、メディアなどを通して知ってもらうことが大切だと思っています。

兵藤：サッカーはプレーをするだけでなく、別の部分での関わり方もあることを知ってもらうことです。また、正しいジャッジをすることの楽しさを知ってもらうことです。

川勝：まずは審判員の魅力を若い世代の方々に知ってもらうことが大切だと思います。どうしても学生のうちには、プレーヤーとしてサッカーに携わる機会が多くなりますが、プレーヤー以外の違った視点からサッカーと関わることで、新たな発見をすることができると思います。

また、サッカーをプレーすることは自信がないという方でも、サッカーと関わるのが好きな方は、ぜひ審判を経験してみると良いのではないのでしょうか。上手な選手のプレーを間近で見ることが出来る審判の特権を、ぜひ味わってみたいと思います！



Q： 最後に今後の目標は？

井村：目の前の1試合1試合を全力で努めたいと思います。

岡元：まずは2級へ昇級することです！

兵藤：自分も上のレベルを目指しているので、たくさんの試合をこなし、レベルアップしていきたいです！

川勝：誰にでも信頼していただける審判員になることが私の目標です。この目標は、非常に長期的な目標になりますが、審判員の仲間だけでなく、選手やスタッフ、観客の皆さんなどに、この試合の審判は信用できる！と感じていただけるようなレフェリングをしていきたいと思います。また、今シーズンは日進月歩をテーマに、反省を活かしながら、さらに成長していきたいと考えています。



みなさま、素晴らしいレフェリングありがとうございました。



昇級審査合格者のお知らせ

(順不同、敬称略)

【サッカー3級】

4種主催(11名)

秋葉 剛、井上 好平、大森 哲之介、小野 凌大、笠原 正輝、小西 俊一、
田川 詔之、竹内 恵子、醍醐 浩史、鷺尾 宙紀、渡部 功大

【インストラクター2級】

中島 智広

【インストラクター3級認定】

袴田 倫、松川 将久



サッカー3級昇級者よりコメント

小野 凌大(おの りょうた)

この度3級審判員に昇級させていただきました、市川市在住の小野凌大と申します。昇級にあたり、所属させていただいている市川市審判委員会の皆様や普段からお世話になっている方には大変感謝しております。私が審判員を始めたのは、練習試合で副審を担当したのですが、その際に選手とは別の世界が見えて「楽しい！」と思ったのがきっかけでした。一度資格は失効したのですが、大学生となり、またサッカーに関わりたいと思い、千葉県で始めました。

現在は市川市で活動させていただいて、たくさんの試合を経験させていただきました。試合の見方や選手とのコミュニケーションの仕方など多くのものを学ばさせていただきました。今回3級を取得しましたが、今後は上を目指して活動していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



小西 俊一(こにし しゅんいち)

野田市在住でフォルテ野田SCの1種、4種で活動しています小西俊一と申します。活動させて頂いている野田市審判委員会、フォルテ野田SCの皆様には感謝申し上げます。

私が審判活動を始めたのは、息子達が活動していたチームでのコーチ活動に伴う帯同審判がきっかけでした。その後3級に挑戦したのは、経験を積むうちにレフェリングに奥深さや楽しさを感じる様になり、しっかりと競技規則を理解し、技術の向上を図りたいと思ったからです。

12年前に3級昇級後、2年程前に失効させてしまいました。今回、再び3級にチャレンジしたのは、今の自分に満足することなく、選手が試合を楽しんで頂けるよう、選手からリスペクトされる審判になりたいと更に強く思ったのと、地元で一緒に活動している若いコーチ達にもレフェリングの楽しさ、面白さを少しでも伝え、一人でも多くの人に『自分も3級審判員になりたい！』と思ってもらいたいからでした。これからも自分自身楽しみながら審判活動を続けて行きたいと思っております。



インストラクター2級昇級者よりコメント

中島 智広(なかしま ともひろ)

みなさんこんにちは。この度2級インストラクター試験に合格した、中島です。

ユース審判員の真夏の研修会にはるか昔10年以上前に参加してから早10年以上が過ぎ、私は今年32歳になります。先日、試合会場に3歳になる息子を持って行ったら、ユース審判員時代からお世話になっている現役PRの方に、「誰の子だ?」と聞かれるくらい、千葉県での審判員としての活動歴は長くなりました。

当時、ユース研修と一緒に出ている仲間たちはほとんどが仕事や家庭や様々な理由で審判活動から離れ、当時からの審判仲間でも現在も活動しているメンバーは、気づけば片手で数えられるくらいになりました。千葉県ではもう当たり前になった、ユース審判員ですが、私がユース研修に参加した頃はまだその存在も珍しく、「なんで審判やるの?」と聞かれることがたくさんあったことを思い出します。それから10年以上の時が経過し、学生や若い審判員が試合を担当することが当たり前になったことは、とても感慨深く感じています。ユース研修出身の私は、これまで全日本少年、各種全国大会、関東カテゴリーでの活動など、本当に貴重な経験をたくさん積ませてもらいました。

今後は、私が経験してきたことを指導という立場で微力ながら還元し、千葉県・関東のサッカー界や審判員が少しでも「成長したな!」「審判活動をしていてよかったな!」と思えるような環境づくりに尽力していきたいと考えています。インストラクターとしては相当若手の部類に入ると思いますが、先輩方からたくさんのことを学びながら成長していきたいと考えています。

・・・この書きっぷりだと現役審判員としての活動を辞めてしまう、引退の挨拶と思われてしまいそうですが、現役審判員として引き続き細く長く活動していきますので、試合会場でご一緒する機会には楽しく活動しましょう!

インストラクターの仕事に取り組んでみて、インストラクター(特にアセッサ)は現役審判員よりもますます孤独で難しい仕事だなと感じています。私自身も試合会場でアセッサとして審判員と振り返りを行い、レポートを作成しながらも指導内容について反省することが多々あります。インストラクターが言っていることが必ずしも正解とは限らないので、現役審判員の皆さんは、試合会場で私から指導を受けた際に「言い方が厳しすぎる」とか、「言ってることがわからない」ということがあれば、遠慮なく伝えてください。皆さんの声が、私(我々)の成長の糧になります。

最後になりましたが、今回の2級インストラクター試験に際して多大なるサポートをいただきました、千葉県の先輩方に心からの感謝を申し上げ、結びといたします。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



インストラクター3級認定者よりコメント

袴田 倫(はかまだ りん)



このたび、サッカー3級審判インストラクターに認定されました流山市の袴田倫(はかまだ りん)と申します。2級審判員として15年ほどが経ち、自分の運動量の低下と若手の育成が頭の中をよぎる中、背中を押していただいた大川さんのおかげもありまして、インストラクターというポジションでも活動させていただこうと思いました。

資格取得に当たっては、大川さんはじめ、行木さん、片桐さんなど多くの方々からご指導いただき、認定までたどり着くことができました。本当に感謝しています。

今後はインストラクターとして、勉強を重ねるとともに、停滞していた審判活動も活性化させたいと思っています。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。



松川 将久(まつかわ ゆきひさ)

この度サッカー3級審判インストラクターに認定されました松川将久(ゆきひさ)です。主に中体連の大会を中心に活動しております。認定試験を受検する上で、本当に多くの方々に多大なるご支援賜りましたこと感謝申し上げます。

インストラクター認定審査受検の動機は、中体連の審判員の中では、かなり年齢が上になり、これまで多くの指導者の皆様からご指導いただいたことを次の世代に伝えていきたいと思ったからです。受検をするにあたって、競技規則について改めて勉強し直し、アセスメントレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方等について学ぶことができました。また多くの審判指導者の方々と近くで接することができました。千葉県の審判員を支えている審判委員会の方々が審判員と同じように、指導者として自己研鑽しチャレンジしている姿を見て、大変刺激になりました。

認定審査受検を通して、確実に審判員としてのレベルアップにつながったとも感じています。指導者目線に立つことによって、自身のレフェリングに対する分析力が深まり、レフェリーとして求められていることを再認識し、言語化していく力等にもよい影響があったと思います。

今後は自らも審判活動をしなが、指導者として中体連を中心に審判員の育成に励みたいと思っています。その中で最も私が伝えたいことは、そもそもレフェリーは「楽しいもの」であるということです。審判活動をしていけば、批判されることも文句を言われることもあります。それでも選手と一緒にグラウンドに立ち、サッカーの試合を作り上げていくことの楽しさ・喜びは非常に魅力的なものだと思っています。そのレフェリーの魅力を伝えていくために、私自身も自己研鑽を続けていきたいと思しますので、千葉県の審判指導者・審判員の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



おめでとうございます！ 今後のご活躍を期待いたします！！



～J1リーグ通算200試合担当表彰～



2024シーズン開幕前のプレシーズンマッチ「ちばぎんカップ」の試合前に、先日J1リーグで通算200試合担当を達成した、千葉県所属1級審判員の大川直也さんと五十嵐泰之さんに千葉県サッカー協会より表彰を行いました。お二人ともますますの活躍を期待しています。



表彰の様子



キックオフ前の集合写真



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2024年1月20日(土)

千葉県民大会(男子)

～姉崎公園サッカー場、市原スポレクパーク～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は千葉県民大会を使用した研修会に参加している皆さまにインタビューをしました。

- | | | |
|-------------------|-----------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから辞められない審判の魅力とは？ | |



- ①：妹尾 勇二(せのお ゆうじ)
普通に読めない名字なのでKickoffにはフリガナ付きで登録しています。全国でも私だけ！？
- ②：大学時代に一度取得しましたがすぐに失効しました。その期間を除いて6年です。
- ③：息子がサッカー少年団に入団して、当初は様子を見ていたのですが、サッカー経験者の私が取得するのは当然！っていう空気感から渋々取りました。
- ④：失敗と反省が山ほどある中で数少ない!?良い思い出として、割当を頂くようになってすぐの頃にU-15日本代表候補選手のプレーを間近で見て「すげえー！」と感動したことです。
- ⑤：一番の魅力は選手と一緒に良いゲームをやり遂げた時の充実感です。また、魅力とは違いますが生意気な中3の息子(クラブチーム所属)と「あのチームのこの選手は…戦術が…」等と、同じ目線で会話ができることも辞められない理由の一つです。小3の娘もサッカーをやっているの、まだまだ頑張っ活動していきます！

- ① : 富澤 昭男(とみざわ あきお)
 ② : 約7年
 ③ : 長男が成田市の「成田SSS」入団をきっかけにお父さんコーチとして約15年ぶりにサッカー復帰しました。学生時代は副審経験しがなく、主審はやりたくなくて逃げる日々でした(笑)。
 ④ : Jリーグ審判員の方と一緒に審判(AR2)が出来たことです。距離・ステップワーク・走る角度等すべてが違いすぎた！
 また、2023年夏に主審終了後に「熱中症」になり、人生初の救急車にて病院へ(汗)。
 ⑤ : 指導者として関わった教え子や他チーム選手の成長した試合での審判を実施するのが楽しみです。また普段、1種中心に活動しておりますが昨年、社会人チームキャプテンから試合中に「今日の審判は良く見てくれているからジャッジクレーム言わない！！」と大きな声でチームメイトに言ってくれていたのも、私も大きな声で「ありがとう！！」と伝えました。
 ここまで審判が出来るようになったのも所属チーム「成田SSS」の先輩審判員、成田市サッカー協会4種のベテラン審判員、成田市サッカー協会1種審判員、皆様の指導により成長出来ました。これからも成田市と千葉県を盛り上げていきたいです！



- ① : 弦巻 千年(つるまき ちとし)
 ② : 2014年に新規で取得、2022年に3級合格しました。
 ③ : 次男が所属していたサッカーチームから「市内大会などでは参加チームのコーチが審判を担当しなくてはならないので審判資格を取ってください」と言われ資格を取りました。その頃は審判には全く興味がありませんでしたので、事務的な感覚で取りました(笑)。
 ④ : 3級に合格した年に主審を担当したU-15リーグの試合で起こったことで、試合途中でグラウンドにうずくまり吐き出す選手がいたこと・クリアボールが校舎の窓ガラスを割ったこと・試合中に選手から「邪魔だよ！」と言われてしまったことです。
 ⑤ : サッカー経験と運動神経が無い私でも、一生懸命プレーする選手達と同じフィールドでサッカーに参加できることです。今日も試合に参加することが出来て楽しませていただきました！



- ① : 本美 啓吾(ほんみ けいご)
 ② : 約9年。
 ③ : 子供がサッカー少年団に入ったタイミングでお手伝い出来ればと思い、取りました。
 ④ : 初めての主審で、時間過ぎてるの気づかず、低学年の子達に5分以上長くプレーさせた事です。
 ⑤ : プレーはもうできないので、選手と一緒に走って試合に集中している時は、プレーしている気になって楽しませてもらっています！



- ① : 木村 怜旺(きむら れお)
- ② : 1年
- ③ : 大学生になり再びサッカーに関わりたい!と思い、中学時代の部活の先生に「練習試合の審判やらせて下さい!」と声を掛けたことがきっかけです。
- ④ : 試合後に選手だけでなく観ている保護者の方からも「審判ありがとう! ナイスゲーム!!」と言って貰ったことがとても嬉しくて印象に残っています。これからもそのように思っていただけよう頑張りたいです!
- ⑤ : 「独特な緊張感」が審判の魅力だと思っています。選手が気持ちよくプレーできるように常に頭を働かせながら、ピッチを走り回ることができるのは審判しかないと思います!
また、選手のスーパープレーを間近で体感できるのも魅力だと思います!!

- ① : 安井 光一 (やすい こういち)
- ② : 約11年です(3級になったのは2020年です)。
- ③ : 息子が所属していた少年団チームのコーチからの勧誘でした。“審判資格を取ることで子供たちのためにお役に立てるのであれば”と思いきまして。まずは副審をしっかりとできるようにチャレンジしてみました。元陸上部だったので走ることに抵抗はなかったです。
- ④ : 県の割当を始めてから、著名な審判の方とお会いできたことですね。中でも、審判を始めた頃に買った本(ポジティブ・レフェリング)の著者、松崎さんと一緒に試合を担当させていただき、直接アドバイスを頂けたことです。
あと、関東女子1部Lの試合で4thを担当させて頂いた時のことです。ゼットエーが会場だったのですが、試合前に審判員の紹介アナウンスとともに電光掲示板に氏名が表示されて、“すげー、Jリーグみたいだ!”と興奮してしまったことです(笑)。
- ⑤ : 派遣審判を始めてみて、審判の方たちはもちろん、選手やチーム役員を含め、たくさんの出会いや学びがあって楽しいです。毎試合色々なことが起きるので、新たな発見だらけで、飽きることがないですね。走り方、姿勢、怪我防止のストレッチなど、フィットネス研修や諸先輩方から教わったメニューなどをやり、普段から健康的な生活を送れるようになったことも良かったです。私も53歳になりますが、まだまだ上の年齢の方たちが活躍されているので、とても良い刺激になり、目標にさせて頂いています!



- ① : 小口 雅樹(おぐち まさき)
- ② : 2年です。
- ③ : チームの監督が審判に入ることで、自チームの試合への準備がうまくいかないことがあり、少しでもチームに貢献できればと思い審判資格を取得しました。
- ④ : 3級になって初めて担当した試合です。試合前から緊張していて、、PK戦にまで突入し、ドキドキの連続でしたが無事に試合が終わった時にはほっとしました。
- ⑤ : 一生懸命フィールドで頑張っている選手たちと同じピッチに立てることです!



- ① : 市川 治(いちかわ おさむ)
- ② : 約7年になります。昨年3級を取得いたしました。
- ③ : 子供が小学生のときの所属チーム(松戸市 高塚FC)で審判活動に誘われたのがきっかけです。その当時は”お手伝い程度なら”くらいの軽い感覚ではじめました。今は楽しくやらせていただいております。
- ④ : 初めて主審を担当したときですね。どうしていいかわからず、責任感で押しつぶされそうになった思い出があります。
- ⑤ : きわどいプレーでもしっかりと見極めて「ナイスレフェリー！」って言われたときは嬉しいですね！



- ① : 瀬川 稜祐(せがわ りょうすけ)
- ② : 割り当てを受けて活動しているのは昨年からです。
- ③ : 中学校教諭でサッカー部の顧問をしているので、はじめは練習試合や大会等でやらざるを得ない状況でした。(笑)そこから少しずつ慣れていって、県総体や関東大会に参加させていただいた際に「もっとレベルアップして、いろいろな試合を担当してみたい」と思ったことがきっかけです
- ④ : 昨年夏の中学関東大会で、全国大会の切符をかけた大一番のゲームが印象に残っています。勝ったチームの歓喜、敗れたチームの悔し涙も印象に残っています。悔しい中でも胸をはって相手チームや審判団に大きな声で挨拶する姿に、サッカーの素晴らしさを感じました。
- ⑤ : 選手と同じピッチで、大好きなサッカーに関われることです。ピッチ上で熱を感じながら、選手がストレスなくプレーできる試合が演出できたら最高です！
上手くできたと思える日はありませんが、少しでも理想に近づけたら！と思います。あとは単純に、試合後に選手から『ありがとうございました。』と声をかけてもらえたら、それだけでやって良かったと思えます。



「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張って活動しているレフェリーを取材に行きます。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。

メールアドレス:cfarc.somu@gmail.com

茨城県と合同でインストラクター研修を開催しました！

2月24日、25日の日程で茨城県のインストラクターと宿泊研修を共催しました。非常に学びの多い研修でしたので初参加した3級インストラクターの測上が報告いたします。



日程：2024年2月24日(土)25日(日)

場所：神栖市武道館研修室、神栖市中央公民館会議室(茨城県神栖市)

参加者(千葉県)：堀川委員長、菅原氏、牛尾氏、藤井氏、山崎氏、伊東氏、測上

研修会は2月の3連休に合わせて、茨城県と合同で開催されました。初日の夜には懇親会も行われ、茨城の皆様と交流する機会にもなりました。学びをしっかりと千葉の審判員に還元していきます！

◆研修目的

- ① J3の試合分析を行って評価のすり合わせを行う
- ② スモールプラクティカルの作成と実践を行う
- ③ 事象分析を行う

① J3の試合分析と評価すり合わせ

	A	B	C	D	E	KI	鞋	12	14	
19	0	0	0	0	0	7.3	3.7	8.7	8.3	◎
29	0	0	0	0	0	7.3	3.3	0	8.3	○↑
39	0	0	0	0	0	7.3	3.7	0	8.3	○
49	0	0	0	0	0	7.3	3.7	0	8.3	○↓
59	0	0	0	0	0	7.3	3.7	0	8.3	X
69	0	0	0	0	0	8.1	3.7	3.7	8.9	

対象試合は真夏の白熱したJ3の試合。

事前に記載した評価項目をもとに、グループごとにディスカッションを行いました。グループの意見を集約し評価項目を発表。D項目(動きとポジショニング)は全グループで「良い」が付く結果に。

講師の柏原氏からも「いい部分に目を向けて評価しましょう。このような点数が並んだことに安心しています。」とのお話がありました(私は最も評価点が低い部類でしたので改善します...)

② スモールプラクティカルの作成と実践

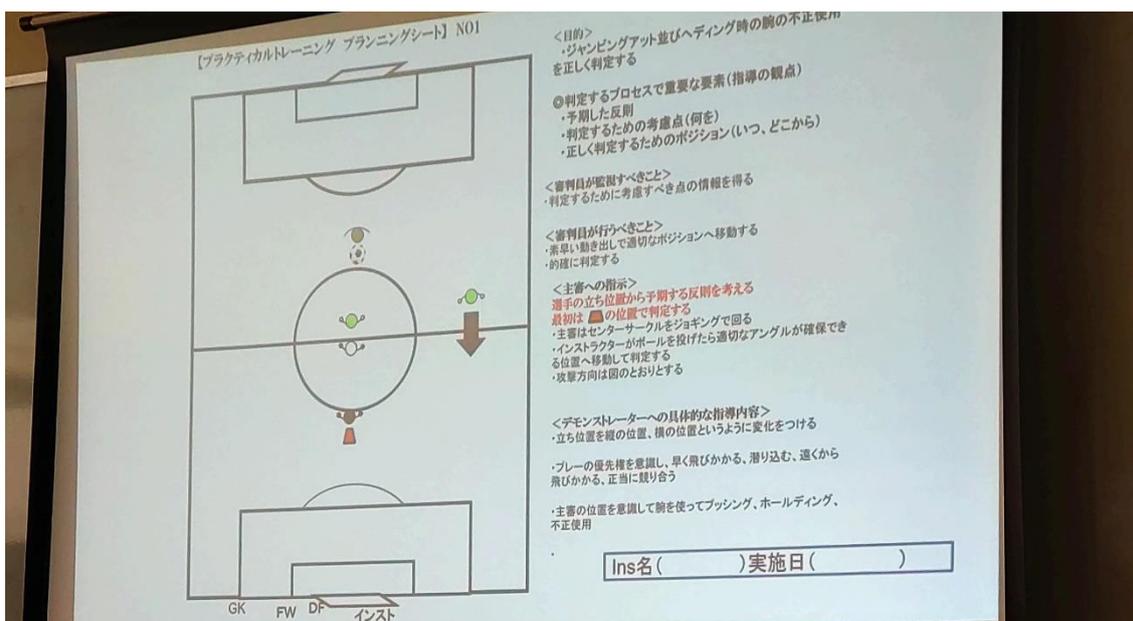
試合後の振り返り等で行う、限られたスペースと短時間で行うプラクティカルトレーニングです。試合で出た課題をその場で改善し、審判員に気づきをもたらすことが求められるため、適切な課題抽出とわかりやすい実践が求められるのです。

初日の午後はその準備を、2日目の午前に茨城のレフェリーを対象に実践を行いました。思ったよりも伝わらない、時間がかかりすぎてしまう等の課題はありましたが、何よりも実践までできたことを前向きに考えたいと思います。

③ 事象分析

適切なフィードバックをするために、映像分析を詳細に行いました。KI(キーインシデント)に該当するかを「アセスメントレポートの手引き」に基づいて記載したり…主審に確認するときの優先順位付けをしたり…その時の考慮事項を検討したり。。

インストラクターの皆様から受けているフィードバックで、確かにそんな流れだったな…と思いつつ、スラスラと書ける先輩方におんぶに抱っこでした。



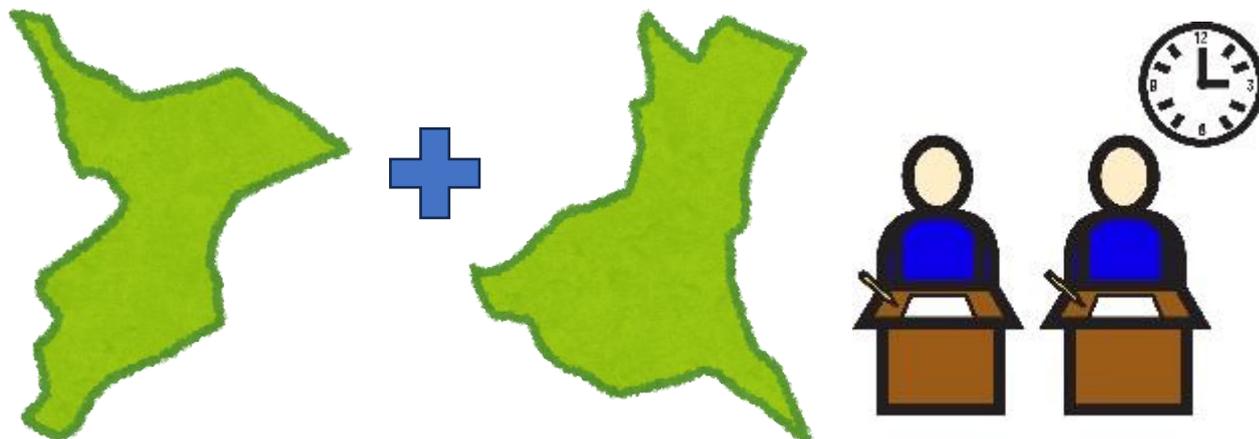
全ては担当した審判団の成長のために！

アセスメントや指導をさせていただく度にその難しさに頭を悩ませています。このようなトレーニングを通して審判団とともに指導者としても成長していくことが大切ですね。審判員としてのみならず、インストラクターとしても、日々学びを継続しています。

関東全体の枠組みの中で、茨城と千葉がセットで研修を行うことが推奨されており、今年度も開催が企画される予定と聞いています。次回は千葉開催も計画されるかも？とのことですので、県内のインストラクターの皆様！「ちばらき」で自分自身に新たなエッセンスを加えて、ともに成長していきましょう！！

改めまして茨城県の皆様、ご指導いただいた関東協会指導者部の皆様、ありがとうございました！

サッカー3級インストラクター: 洲上祥太



フットサルの魅力③

～強化審判員対談 審判員の魅力に迫る 前編～

フットサル連載の第3弾は強化審判員5名による対談形式でお送りします。
5人の魅力や強化制度の素晴らしさがわかるお話が聞けました！

[第1弾はこちら！](#)

[第2弾はこちら！](#)

◆強化制度に参加して良かった！

Q：こんにちは。今日はフットサル3級強化の皆さんにお集まりいただきました。フットサルレフェリーの魅力や強化制度について聞いていきたいと思っています。

金指：フットサルとサッカーの両方で活動している者として、レフェリーニュースの連載という形でフットサルに焦点を当てていただき、とてもうれしく感じています。

Q：皆さんにご覧いただけてこちらも嬉しいです。選手も読んでくださっていると聞きました。

小倉：フットサルは集中開催なので、毎週同じ選手と審判員が顔を合わせます。それで興味を持ちやすいのかも知れませんね。

綾木：選手登録もしているのですが、選手の時から知っている仲間もたくさんいます。声を掛けられることもあるので、確かにそうかも知れません。

Q：実際に強化制度はどうでしたか？

菱沼：参加してよかったなと思っています。技術的なアドバイスもしていただけて、けん引力が感じられます。やっている方としても気持ちが入るので。

田口：わかります。元Fリーグ担当の櫻田さんや室田さんをはじめ、指導者陣が日本フットサルのトップなので刺激がありますね。

金指：最初は本当に知識ゼロだったので。色々な経験をさせていただく内に、フットサルの審判にかける思いが強くなりました。その気持ちが強くなったのが一番大きいと思います。

小倉：3級の今でも、こんなにも年間を通して同じメンバーでやるというのはとてもありがたいです。

田口：確かにそうですね。サッカーの2級強化に入れていただいていた時は、コーチもついていました。一方でフットサルはコンパクトだからこそ濃密な時間だと思います。



小倉敬右：千葉県出身
フットサル3級、サッカー2級。
昨シーズン久しぶりにサッカーの割当を受けた。関東協会大石委員長は高校の恩師。



綾木信介：千葉県出身
フットサル3級。
選手として千葉県フットサルリーグに所属する傍ら審判員としても活動中。暇さえあればジムへ行く。



金指友翔：東京都出身
フットサル3級、サッカー3級。
千葉大学に通う学生。期末試験期間に割当が重なり焦ったが、気合で乗り切った。

◆木村さん、いつ映像の編集をしているんだろう…？

Q：実際の活動を教えていただけますか？

綾木：強化審判メンバーが集まる強化研修日というのが県リーグ試合日で定期的に設けられ、当日は映像撮影に加えてアセッサーにもお越しいただき、その場で評価とフィードバックを聞くことが出来ます。非常に有意義なシステムだと思います。

Q：アセッサーだけではなく撮影もしていただけるんですね。

小倉：フットサルの試合は1会場で集中開催なので、毎回同じ選手と審判員で4試合5試合と行います。毎週のように会っているので選手とも

距離が近いんです。ある意味フットサルだからできる強化の形なのかも知れませんね。

金指：集中開催だからほぼ毎試合で撮影できます。ネット上で映像の共有をしてくださるのもありがたいです。

田口：強化の音頭を取ってくれている木村さんがクリップを作ってくれたり。

綾木：木村さん、ご自身も試合があるのに、いつ映像編集してるんだろう？

金指：確かにいつ見て、いつクリップしているんだろうと思います。

田口：木村さんは現役で関東リーグを吹いている2級審判員で1級昇級を目指しています。関東協会・日本協会ですら求められることをわかりやすく伝えてくれることによってフットサル審判の経験がない人でも導入しやすいの環境だと思いました。



田口雄一：千葉県出身
フットサル3級、サッカー2級。
サッカーでもお馴染み田口。
一家でレイソルサポーター。た
まに家族で日立台に出現。

菱沼：木村さんの熱量はこちらにも伝わってきます。

綾木：メールも内容が濃くて。

金指：本当に長文で、読むと関東に上がるためのモチベーションが上が
る内容になっています。

菱沼：毎回強化の日は審判員としてのモチベーションの持っていき方も
教えていただいている気がします。

綾木：千葉の環境がいいというのが
現れていて、それに応えたいで
すね。知らないうちにモチベー
ションが上がっている、上げさせら
れている。我々に続く人が出てき
てほしいと思っています。

金指：やる気の向上に繋がっていま
すし、忙しい中で熱を注いでいた
だいて、恩を感じています。2級
に上がるのが一番ですし、早く上
がって報いたいし、フットサル全
体の向上につなげていけたらと
思っています。



菱沼和幸：神奈川県出身
フットサル3級、D級サッカー指
導者。
自宅は神奈川だが単身赴任
中。お子さんのチームで指導
者も。忙しそう。

次回は強化審判員の素顔に迫りつつ、新シーズンの抱負や将来的な目標を伺います！



~永年に亘りご尽力いただきありがとうございます！~

功労表彰者の紹介



今後も増々のご活躍を祈念いたします！！

《30年表彰者》(敬称略・順不動)
榎本 清之、林 一賀

《20年表彰者》(敬称略・順不同)
中上 紳一郎、高橋 秀明、
小巻 孝嘉、鹿野 千秋、
柳澤 健太、山本 匡敏、
山下 晋也

2024年5月11日(土)に表彰式を予定しています。

場所：千葉市内を予定

時間：17時から審判委員会全体会議の終了後の予定

場所と時間が正式に決まりましたら表彰者に連絡します。

※10年表彰者には後ほど「記念トスコイン」を送付します。

鹿児島県で開催された「JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会」の審判に千葉県からユース審判員2名が参加し、大会の様子などをレポートしていただきました。

☆川村 空生(3級)☆

昨年12月26日から29日に鹿児島で行われた、JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会に参加した川村空生です。今大会の審判員は高校1年生から3年生の計32名で構成され、中には2級審判が2人、女性審判が6人いました。

全国大会ということもあり普段足を踏み入れることのできないような緊張感のピッチでレフェリングをすることができました。責任感と空気感で緊張に耐えながらでしたが、いつも通りやることを心掛けました。

今大会も例年同様1人制審判で行われ、すべてのプレーを主審が監視することを求められました。3人制審判と違うところは副審がいないこと、つまりボールを主審と副審で挟む必要がないということです。そのため、3人制審判よりも自由に動くことができ、ポジショニングの面では審判員によって大きな違いがあり、参考になることも多くありました。

また大会中の夜の研修では、今後の日本のサッカーと審判員の存在についてのお話がありました。

[\(JFAの目標2030 | JFA中期計画 | JFA | 日本サッカー協会\)](#)

将来日本、もしかするとワールドカップなどの世界で活躍する可能性のある選手がいるような環境でどのようなレフェリングをするかベキか考えさせられました。全国大会のような大きな試合だけでなく、普段から日本のサッカーに関わっているということを考えなければいけないと感じました。

この大会を通じて様々なことを学び、全国各地の仲間と交流し、非常に充実した5日間だったと感じています。今大会に推薦していただいた千葉県、関東の委員会の皆様、また今大会の運営に携わっていただいた皆様、JFA、地域指導者の皆様、本当にありがとうございました。

また、来年この大会に参加したい！この大会について聞きたい！という方がいれば試合でお会いした時や研修などで是非お話をしましょう。

今大会で得たものを糧に、今後の審判活動をより一層濃いものにしていきます。今後ともご指導よろしくお願ひします。

↓ 大会に集まった審判チーム

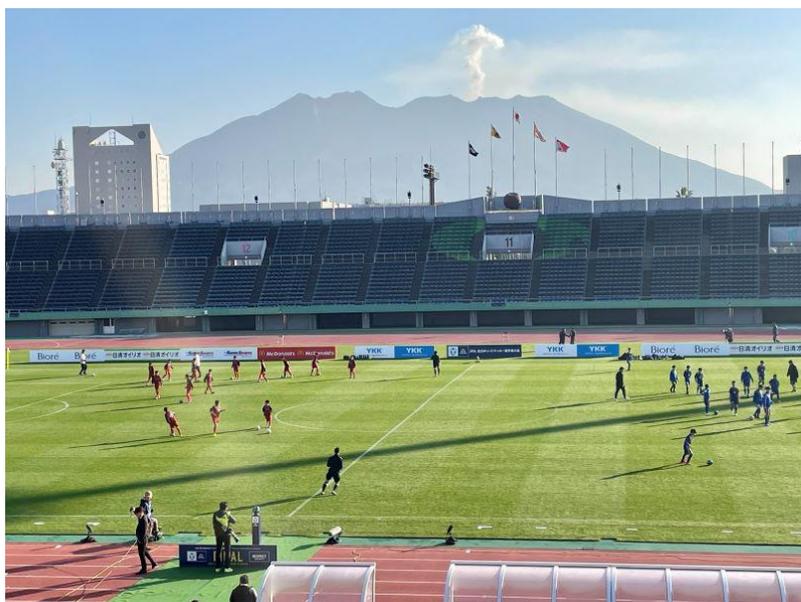


☆松井 誉啓(3級)☆

皆様こんにちは、3級ユース審判員の松井誉啓です。私は12月26日から29日に行われたJFA第47回全日本U-12サッカー選手権に参加してきました。

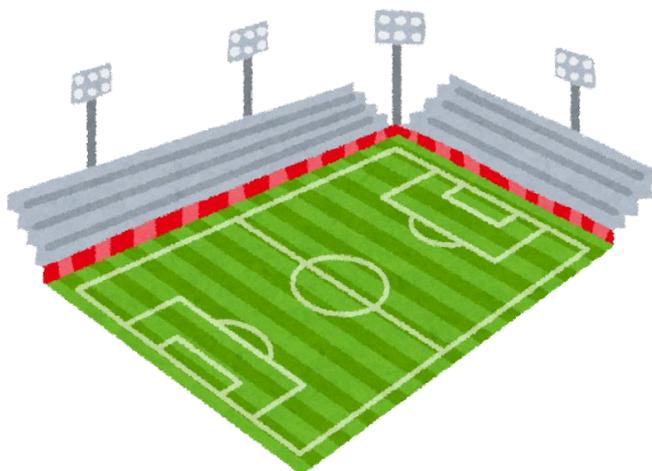
全国から集まった48チームとユース審判員32名で大会を成功させることができました。今回の大会を通して自身の審判スキルの向上を実感できる大会になりました。今大会では、1人制審判ということで毎試合動きを変えたりして試行錯誤しながらも自分が1番良いと思えるレフェリングをすることができました。ここで気づき学んだことをこれからの審判活動に活かしていきたいと思います。同じ年代の審判員達と交流することで良い刺激を沢山もらいました。また改めて選手と審判だけでは試合は成立しないと感じました。大会を支えてくれたスタッフの皆様や監督、コーチの皆様には感謝しなければならないと思いました。日々感謝を感じながら審判活動をしていきたいです。

最後に今大会に参加するにあたり、推薦していただいた千葉県審判委員会の皆様、割当等で指導してくださる皆様には、御礼を申し上げます。ありがとうございました。これから更に上を目指してこの年代では誰にも負けないように頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願います。



JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会のページは
https://www.jfa.jp/match/japan_u12_football_championship_2023/

大会参加の審判員のコメント等は
https://www.jfa.jp/match/japan_u12_football_championship_2023/news/00033580/



《4級審判員新規取得講習会のお知らせ（サッカー）》

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

この講習会は、現地に集合して行う対面式の講習会です。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべてKICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
5月12日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,200 ユース ¥1,550
5月26日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
6月9日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
6月23日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
6月30日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
7月14日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
7月27日(土)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						

2024年度4級審判新規取得&各種講習会のお知らせ（フットサル）

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
5/26 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学センター 3,4研修室	千葉都市モノレール スポーツセンター駅	50人	有り	一般、ユース
7/21 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学センター 3,4研修室	千葉都市モノレール スポーツセンター駅	50人	有り	一般、ユース
3/9 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学センター 3,4研修室	千葉都市モノレール スポーツセンター駅	50人	有り	一般、ユース

フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験

2023年4月28日(日)

申し込み開始3/5～4/8

書類の提出締め切り4/15

会場大網白里アリーナ16:00～21:00

※詳細はWebの方にアップしています。

～2024 Jリーグレフェリングスタンダードについて～

日本サッカー協会(JFA)審判委員会では、本年度もJリーグと共に、選手に求めるプレーや昨シーズンの事例に、FIFAの競技規則に基づく解説を加えた「2024 Jリーグレフェリングスタンダード」の映像を作成しました。映像を使って分かりやすく解説していますので、ビデオを観てご自身のレフェリングに生かしていきましょう。

2024 Jリーグレフェリングスタンダード

- ①競技者の安全を守る
- ②ハンドの反則
- ③得点または決定的な得点の機会の阻止
- ④オフサイド

↓画像をクリックするか、以下のURLよりご覧ください。



JFAのニュース

<https://jfa.jp/referee/news/00033662/>

TouTube で見る

<https://www.youtube.com/watch?v=EtiuG3ZzO4M&t=26s>

～活用しよう JFA Passport～

2024年1月号では、携帯版の「JFA Passport」の紹介をしましたが、今回はPC版の紹介です。KICKOFFからJFA IDでログインして以下をクリックすると、様々なコンテンツを見る事ができます。

ホーム画面の右側に「資格者ページ」のボタンをクリックし、「審判ライセンス取得者ページ」をクリックすると、動画(Movie)でサッカーやフットサルにおける様々なシーンへの対応について解説してくれています。

特に今回は「審判報告書の記入の仕方」や「重要事項報告書」について、解説がありましたので、紹介します。他にも日頃の審判活動に役に立つ動画も多く掲載されているので、活用してみましょう！



審判報告書の記入の仕方

<https://passport.jfa.jp/mypage/referee/videos/detail/875>

審判報告書(2) 重要事項報告書

<https://passport.jfa.jp/mypage/referee/videos/detail/1084>

2024年度審判員関係者対象の傷害保険について(お知らせ)

(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、審判活動を行っていただく皆様の、活動中におけるケガや熱中症などの万が一に備えた保険を2024年度も契約しています。前年度(2023年度)からは保険適用される活動を明確にするため、(公社)千葉県サッカー協会(以下『県協会』という)が主催(開催)する各種大会の全ての試合ではなく、基本的に県協会から依頼を受けた活動を対象とし、詳細は以下となります。事故があった際には、下記の説明をご確認の上、担当者までご連絡ください。

保険適用がなされる活動例

- 県協会審判委員会割当部から派遣依頼を受けた審判活動
- 県協会審判委員会インストラクター部から派遣依頼を受けたアセッサーおよびインストラクター活動
- 県協会が主催する審判資格新規取得および更新講習会参加
- 県協会審判委員会が開催する昇級試験および昇級予備試験参加
- 県協会審判委員会が開催する各種研修会での活動(実技・講義共。スタッフ含む)
- 県協会審判委員会の各種会議および活動参加
- 県協会審判委員会から依頼を受けた審判アテンド等の業務
- 県協会審判委員会より選出を受けた者が、県協会から出席依頼された各種会議参加

保険適用されない活動例

- × 県協会が主催(開催)する各種大会でも、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会や、クラブが主催する各種大会や練習試合での、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会及び種別が開催する審判資格新規取得および更新講習会参加

保険が適用される症例等

- 活動のための往復途上のけが・特定疾病
 - 審判中のけが・特定疾病
 - 上記のけが・特定疾病により入院した
(特定疾病・・・心筋梗塞等の急性心疾患、急性脳疾患、急性呼吸器疾患、細菌性食中毒、熱中症、低体温症、脱水症)
- ※宿泊を伴う活動については、特定疾病は補償の対象外となります。

次のような場合等は、保険が適用されません。

- × 本人の故意または重大な過失によるもの
 - × 本人の自殺行為、犯罪行為または闘争行為によるもの
 - × 本人の麻薬、あへん、大麻、覚せい剤またはシンナー等の使用によるもの
 - × 本人が無資格運転中、または酒酔い運転中の事故
 - × 他覚症状のない本人の感染症
 - × 頸部症候群(むち打ち症)及び腰痛で自覚症状しかないもの
 - × 本人の妊娠、出産または早産
 - × 戦争その他の変乱、放射能汚染等
 - × 行事開催日の直前12か月以内に医師の治療を受け、または治療のために医師の処方に基づく服薬をしていた疾病と医学的に因果関係のある急性心疾患・急性呼吸器疾患
- ※宿泊を伴う活動については、上記のほか地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする事故や、脳疾患・疾病または心神喪失に起因する事故等についても補償の対象外となります。



《別表1・通常の活動の保険金額》

補 償 種 別		保険金額 (最高)	
災害死亡補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	500万円	
後遺障害補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	500万円	
療養補償	入院日額	(傷害)	3,000円
		(疾病)	3,000円
	手術(傷害・疾病)		手術の種類により、各入院日額の10倍、20倍、40倍
	通院日額	(傷害)	2,000円
(疾病)		2,000円	

《別表2・宿泊を伴う場合の保険金額》

保障項目	保険金額 (最高)
死亡・ 後遺障害	1,000万円
入院日額	5,000円
通院日額	3,000円
賠償責任 携行品損害 救援者費用 留守宅損害	補償しない



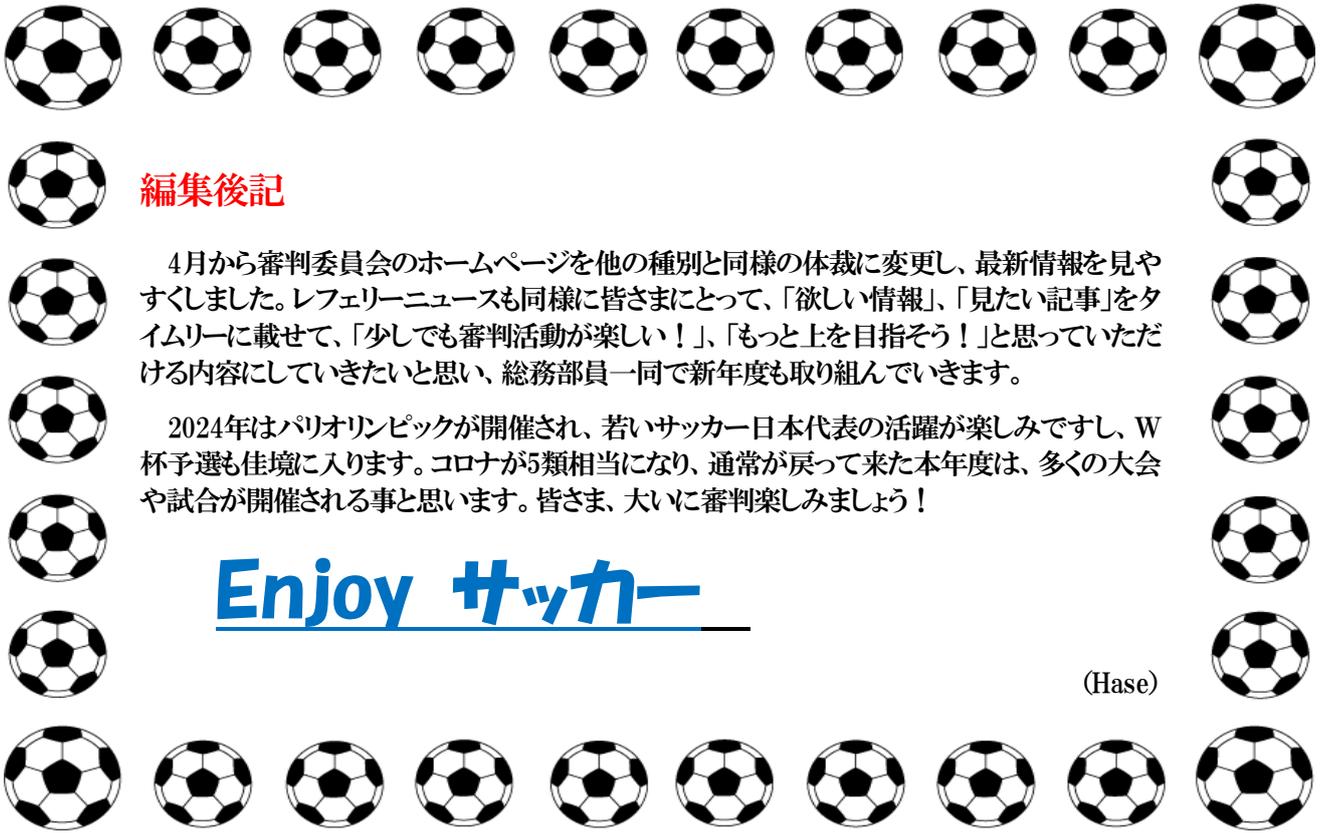
本件に関するお問い合わせ先

審判委員会 総務部 保険担当 長谷川
☎ 070-5595-5142
E-mail cfarc.somu@gmail.com

広告主さま募集しています

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
 - ・この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。





編集後記

4月から審判委員会のホームページを他の種別と同様の体裁に変更し、最新情報を見やすくしました。レフェリーニュースも同様に皆さまにとって、「欲しい情報」、「見たい記事」をタイムリーに載せて、「少しでも審判活動が楽しい!」、「もっと上を目指そう!」と思っていただける内容にしていきたいと思い、総務部員一同で新年度も取り組んでいきます。

2024年はパリオリンピックが開催され、若いサッカー日本代表の活躍が楽しみです、W杯予選も佳境に入ります。コロナが5類相当になり、通常が戻って来た本年度は、多くの大会や試合が開催される事と思います。皆さま、大いに審判楽しみましょう!

Enjoy サッカー

(Hase)

高野 祐介	E-mail : cfarc.somu@gmail.com
長谷川 鉄哉	
淵上 祥太	
金子 秀之	
公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会	https://chiba-fa.gr.jp/13judge/



Facebookもチェック

[千葉県サッカー協会 審判委員会\(発信専用\) - ホーム | Facebook](#)

<https://www.facebook.com/ChibaFA.rc>